

~Discover MURA no TAKARA 9th~

令和4年度
東北農政局管内優良事例集

東北農政局 ディスカバー

むら

たから

農山漁村の宝



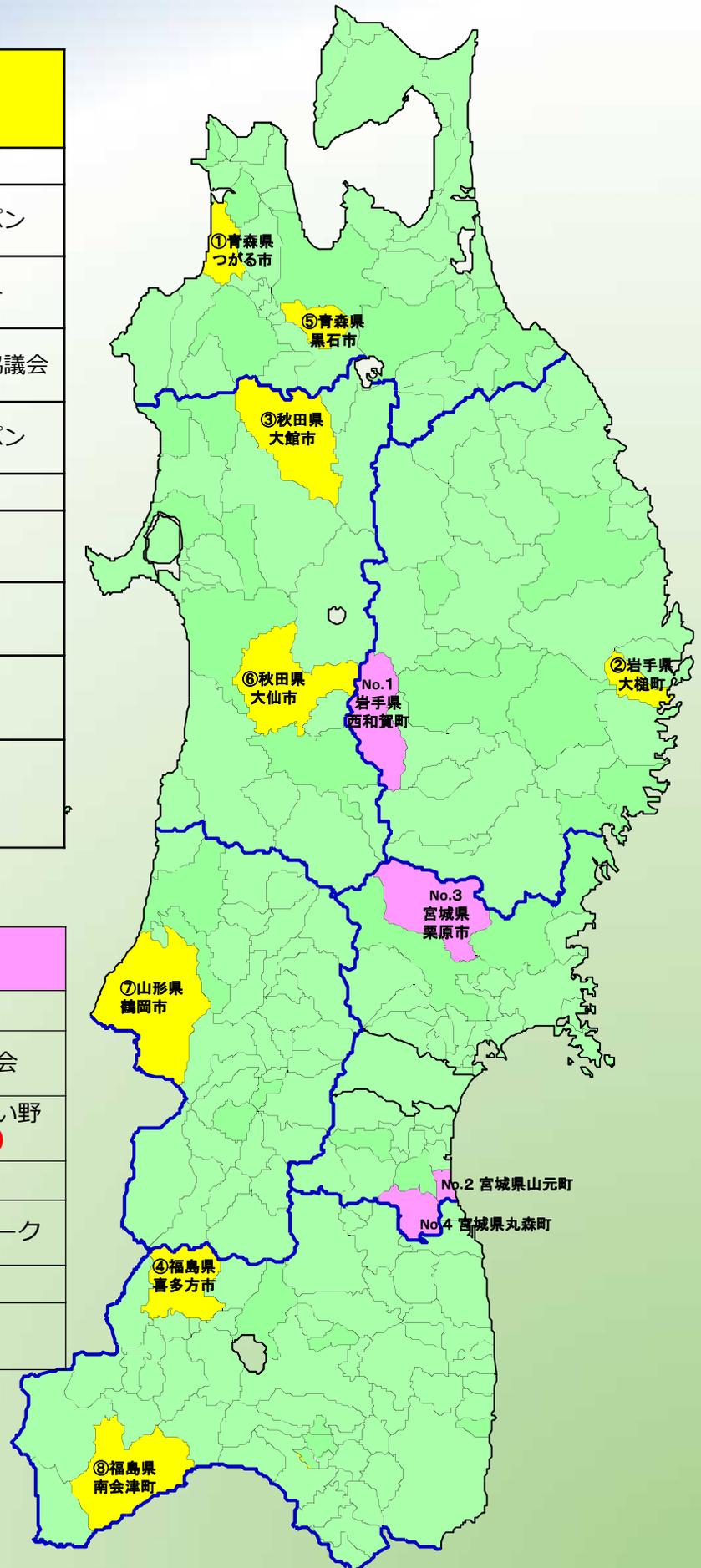
令和5年1月
東北農政局



令和4年度 東北農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」 選定地区位置図

令和4年度 東北農政局 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」 選定8地区		
ビジネス・イノベーション部門		
①	青森県 つがる市	有限会社サンアップル醸造ジャパン
②	岩手県 大槌町	大槌ジビエソーシャルプロジェクト
③	秋田県 大館市	大館北秋田地域林業成長産業化協議会
④	福島県 喜多方市	株式会社オクヤピーナッツジャパン
コミュニティ・地産地消部門		
⑤	青森県 黒石市	株式会社アググリーンハート
⑥	秋田県 大仙市	NPO法人南外さいかい市
⑦	山形県 鶴岡市	庄内赤川土地改良区
⑧	福島県 南会津町	特定非営利活動法人あたご

「第9回ディスカバー農山漁村(むら)の宝」 全国選定4地区及び個人		
ビジネス・イノベーション部門		
NO.1	岩手県 西和賀町	ユキノチカラプロジェクト協議会
NO.2	宮城県 山元町	株式会社やまもとファームみらい野 (特別賞(地域復興大賞)受賞)
コミュニティ・地産地消部門		
NO.3	宮城県 栗原市	一般社団法人はなやまネットワーク
個人部門		
NO.4	宮城県 丸森町	八島 哲郎



東北農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の概要

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信しているものです。

全国で選定された地区以外にあっても、東北農政局管内には数多くの優良な事例が存在していることから、地域の活性化、所得向上等の取組や都市農村交流等に取り組んでいる優良な事例を「東北農政局『ディスカバー農山漁村の宝』」として選定し、広く発信することにより他地域への横展開を図ることとしています。

選定の対象及び選定方法

選定の対象は、内閣官房及び農林水産省が実施した募集において東北農政局管内から応募のあった86件のうち、全国表彰で選定された3地区及び1名を除いた82件としました。

選定に当たっては、農政局内に設置した「選定委員会」による審査を経て、8地区を優良事例として選定しました。

選定証授与式・意見交換

令和4年12月15日(木曜日)、仙台市内において、選定証授与式を開催しました。選定証授与式では、坂本東北農政局長から選定地区の代表者へ選定証を授与しました。

式典後、東北農政局選定地区による意見交換を行いました。



坂本東北農政局長からの式辞



受賞者への選定証授与



受賞者の記念写真



意見交換



青森県つがる市

地域活性化

6次産業化

★青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島

ゆうげんがいしや じょうぞう
①有限会社サンアップル醸造ジャパン

STOP! りんご農家減少!



自社のアップルブランデー



工場内併設の見学のできるアンテナショップ



ブランデーの仕込み

概要

栽培しやすい加工用リンゴで後継者育成をし、農家の収入安定が可能となれば、リンゴ産業の発展につながるのではないかと考え、2003年にアップルブランデーを製造する会社を起業した。

取組の効果

○起業後の十数年間は、酒造免許が取得できず、活動ができなかった。周りのサポートもあり約19年目にしてアップルブランデーの製造販売ができるようになった。

○近隣農家よりリンゴを買い取りしている。その際、品種や数量、傷や型崩れは問わない。決めているのは市場に左右されない高めに設定した一定の買い取り価格。そうすることで、リンゴ農家に新規参入した若い農家の安定した収入につながると思ったから。実際、リンゴ農家に新規参入した農家から市場価格の1.5倍で買い取りしている。

○地元のリンゴを使用し、昨年からはアップルブランデーの製造を開始した。1年目は自社農園のリンゴだけを使用してアップルブランデーを製造し、製品化できた本数は約9,100本程度。2年目は自社農園をはじめ、約23軒ほどの近隣農家からリンゴを買い取り、自社と併せて約10万本の製造を見込んでいる。



おおつちちょう
岩手県大槌町

ジビエ

食育・教育

- 青森
- 秋田
- 岩手★
- 山形
- 宮城
- 福島

おおつち
②大槌ジビエソーシャルプロジェクト

「害獣」を「まちの財産」に



1時間以内に工場搬入し、丁寧に処理加工



町内外のイベントに出店し、交流人口を創出



狩猟体験を提供する大槌ジビエツーリズム

取組の効果

- 町役場、MOMIJI(株)、(株)SNW、猟友会を中心として多くの企業・団体・個人事業主との連携により「獣害」という地域課題を解決した。
- 三陸・大槌町の自然や、ジビエ・狩猟の魅力を届ける「大槌ジビエソーシャルプロジェクト」では、令和3年度の開始からこれまで113人が参加した。
- 地元猟友会と連携して「ハンター育成プロジェクト」を実施し、次代の狩猟者を育成。大槌町の猟友会登録者30名(R3)→41名(R4)へ増加。
- 県内外イベントにキッチンカーで出店し、「大槌鹿の串カツ」等の販売を通じてジビエの認知拡大、価値の共有を図っている。
- 令和2年度からこれまでに17団体166名の視察を受け入れ、6団体の事業化支援を実施。その他、都市部の修学旅行や親子地方留学を受け入れている。

概要

質の高い鹿肉の加工販売、ジビエ関連の各種事業の企画運営による関係交流人口の創出。



おおだてし
秋田県大館市

林業再興

地域還元

- 青森
- ★秋田
- 岩手
- 山形
- 宮城
- 福島

おおだてきたあきたちいきりんぎょうせいちようさんぎょうかきょうぎかい
③大館北秋田地域林業成長産業化協議会

美しい森を、未来の子どもたちへ



伐ったら、植える。
私たちが果たす未来への責務です

大館市有林における主伐・再造林の実施



選手村ビレッジプラザ 秋田スギ集成材



渋谷区子育てネウボラ 秋田スギフローリング

取組の効果

- 川上から川下までの事業者の連携による事業を行うため、大館市と協議会との間で「森林経営および木材販売に係る協定書」を締結し、大館市有林の一部(116.76ha)を施業フィールドとして協議会へ提供することで、地元産材を伐採から加工、利用までの供給体制を構築。
- 流通効率化や木材販売価格向上に向けた連携体制を構築することによって、地域における川上・川中・川下までが全体的に儲かる全体最適の仕組みづくりを行っている。
- “忠犬ハチ公”を通じて防災協定を締結している「渋谷区」と連携し、大館市産秋田スギを渋谷区の公共施設「渋谷区子育てネウボラ」などへ供給し、都市部の木質化に取り組むなど、森林資源の循環利用による地域林業の成長産業化を推進。
- 山元(森林所有者)への利益還元に向けた取組とした締結した「森林経営および木材販売に係る協定書」については、毎年度、施業完了後に収支結果を関係者に公開し、次年度の取組への改善点等を協議することで着実な販売単価の向上につなげている。

概要

森林資源の「循環の輪」創造に向け、秋田スギ等木材の安定供給と山元への確実な利益還元を目指す。



きたかたし
福島県喜多方市

農福連携

伝統の再興

青森

秋田

岩手

山形

宮城

★福島

かぶ しき かい しゃ
④株式会社オクヤピーナッツジャパン

会津産ピーナッツ再生を目指す



障がい者施設で手剥き風景



自慢のロイヤルピーナッツソフト



幼稚園児と支援学校の生徒で収穫体験

概要

会津産落花生の栽培を通じ、契約農家の収入安定と農福連携による障がい者の方々の収入安定と地域経済支援

取組の効果

【「健康で美味しい日本豆食文化」伝える心】

○若い人を中心に、豆を食べる量が減少しているなかで、豆はおいしい・健康にいいことを伝えるため落花生の栽培を幼稚園・小学校・支援学校と一緒に取り組んでいます。

【「地域農業・産業」に貢献する心】

○契約栽培事業：米の収入源を補うために、落花生栽培を推進し、「定額買取」「会津落花生センターの整備」で負担を減らし、栽培面積拡大を目指す。

○作業委託事業：自社栽培・契約栽培で収穫された落花生は、会津地域15か所の施設で約200名の障がい者の方々が冬仕事として手剥きを行っている。また、自社栽培の圃場では、落花生の播種・中間管理・収穫作業において農福連携に取り組んでおり、契約農家を広げる活動もしている。



くろいしし
青森県黒石市

農福連携

食育・教育

青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島

かぶ しき がい しゃ

⑤株式会社アグリーンハート

農業をもっと楽しむ！～感謝農業・笑顔農業～



都市と青森を結ぶ直営店「DAITA DESICA」



農福連携による雇用・生きがいづくり



地元保育園・学校の農業体験や食育活動を受入

取組の効果

【生産(2つのビジネスモデル)】

平野部: 4種類の水稲直播栽培(V溝乾田、湛水、越冬、ドローン)やIoTを駆使したスマート農業技術の導入による低コスト大規模水田農業を実践。

山間部: 高付加価値な自然栽培米を生産(職人農業)

新技術導入による低コスト・省力化と有機・自然栽培による高付加価値化を両立している。

【有機栽培と農福連携】

中山間地域の長年休耕状態であった土地で「有機JAS認証」を取得し、休耕地の解消や環境保全にもつなげている。また、有機栽培の作業工程の中で、農福連携の取組も実践。就労継続支援B型事務所と契約し、にんにくの収穫作業や、水稲除草作業等1日4時間で年間のべ80人を雇用。

【交流】

園児や学生、農業体験、職場見学等に多数取り組むほか、令和2年度には世田谷区に直営店「DAITA DESICA フロム青森」を開店し、お米の定期宅配のほか、有機栽培米づくりが体験できる田んぼオーナー制度を実施し、首都圏のファン作りや、都市部と地方との交流に取り組む。

概要

地域の特徴を活かした2軸(低コスト・省力化と有機・自然栽培)の農業生産、都市と農村をつなぐ直営店設置や田んぼオーナー制度等を実施